

## D二 布教所長一年祭

これの○○布教所の祖霊殿にお鎮まり下さいます 故○○○○大人の霊の前に 天理教○○分教会長○○○○慎んで申し上げます

久方の空行く月のさやかな光にも 立ち迷う浮雲の障りがある如くいつまでも健やかに明るくお暮らし頂きたいと心より願っておりましたのに 汝大人は昨年三月七日齡九十歳の長命ながら 入る月の影消えるが如くはかなくも現身をかくされてしまいました 夜空にかゝる月影を見ては ありし日の笑顔を思い浮べ 懐かしき面影を臉に描いておりますが 早や 五十日百日が夢の間に過ぎ 今日茲に一年の霊祭をつとめさせて頂く日と相成りました 御前に汝大人の家族親族寄り集い 改めてご生前の道すがらをあれこれと語り合ひ 共に喜び共に涙した昔をそれぞれ偲んでおります 汝大人は大正○年○月三十日 神奈川の地にて○○○○大人○○刀自の真名子として生をうけ 身上丈夫とはいえないながらも△△姉との良縁を得た事から 三人の光溢れる宝に恵まれ 夫婦の丹精の甲斐あってそれぞれに素晴らしき配偶者との出会いをいただき 八人の孫に囲まれる日を迎えることができました 人として男として良い人生だったと思えます また初代以来今日に至るまで会長の腕となり足となつての伏せ込み 家族ぐるみでの勤め 親代わり後見人としてのお働きは 御礼以外の言葉を見つめることのできないものであります 改めて御礼申し上げます ありがとうございます ございしました 平成を暫し経た頃より身上に障りをもらい 入院することもしばしばでしたが その度毎に奇蹟のような復活を遂げられ 家族団欒の時を味わうことができましたが 時の経過と共に俄に朝を迎え夕べを過ごす力も尽き果て 昨年三月天寿を全うされ 親神の懐とはいいいながら 遠く遙けき旅路に出で立ち給いました 思い返せば出直すわずか前の祭典日の後 見送りに下りてきた玄関の上がり口で仁王立ちになり『頼むから夫婦で長生きをしてこの道をみんなに真剣に伝えてくれ、頼むぞ』という言葉が今も聞こえてくるようです また『俺がいなくなつて あいつだ いじょうぶかな 生きていけるかな 心配だ』と繰り返して返す△△姉を思いやる言葉を出しておりましたが この一年三夫婦が代わる代わる手を掛けている状を天よりご覧いただき ご安心して下さっていることと思えます ここに一年を迎えるに当たり 御前にとりどりの品々をお供えさせていただきます 一人ひとり心が籠めて伏し拝む姿をご覧下さいまして 汝大人はよりよき来世をお迎え下さると共に 天翔り国翔り先になり後になり ○○○家はもとより 縁深き人々を夜の守り日の守りにお見守り下され 尚又それぞれの持場立場を通して陽気あふれる世界が周囲に現れますようお導きの程を 一同と共に慎んでお願い申し上げます